



性善説だけでは乗り切れない!

あらたな予備知識で日本の国柄をみる

元の木阿弥より悪い
2009年、つまり7年前、我が国では自民党と民主党との間で政権交代があり、1955年以来続いてきた政治風土が多少はよい方に向かったとゆのかと期待しました。ところが2年後の2011年、東日本大震災が勃発。大津波と地震で東電の原発事故を誘発。その後処理にしくじった民主党は迷走を始め、政権交代後3年でふたたび自民党に政権をわたしてしまいました。元の木阿弥、いやそれ以上に悪くなった感で、現在に至っています。殆どの国民は、利権の固まりのような政党に絶対多数を渡せばどうなるかを、いまつぶさに体験しつつあります。

情報を知り得るのか
先の大戦では、国民は新聞、ラジオ、雑誌、記録映画などで政府に操られてきました。今はテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、そしてインターネットが情報取得の手段になっていて、国民が

共有出来る情報量の多さは戦前の比ではないはず。しかもそれらの情報源は、国民には一応は開放されていて、国民が正しい判断をする手段や機会が公平に手にしています。あとはその手段や機会を使うか使わないか、得られた情報を活用するかしないか・・・まあ乱暴に言えばそんなところ。情報の量、スピード、網羅する

疑うを知らぬ国民性を疑う
むろんネット上の情報は玉石混淆。ウソもホントも混合。結局は、受け取る側の正しい予備知識に頼らざるを得ないという、おかしなおかしな、犬の尻尾追いの有様です。

そう言う前提で昨今の政治のおかしさをみてみると、我々はこれまで教えられ、学ばされた事柄だけでは理解不能な状況と向き合われているのではない

る範囲・・・情報取得の容易さから言えば、第一位にインターネットが上げられるようになった。むしろ真実は、インターネット上にしかないといまで言われるくらいです。

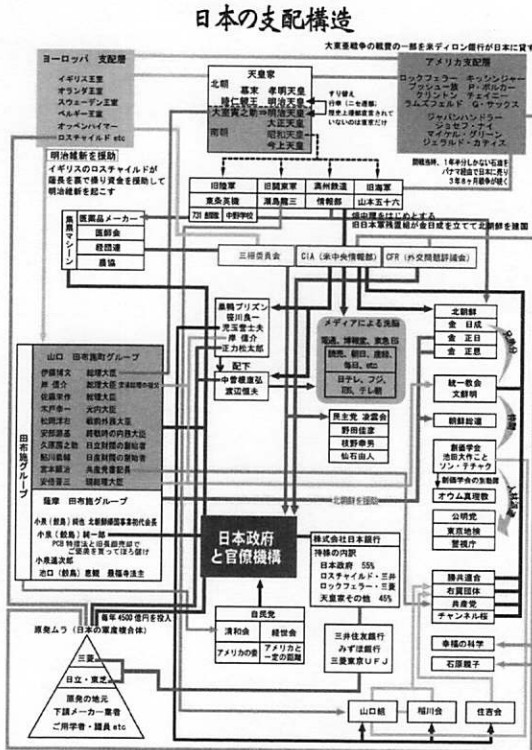
この10年、20年はさらにめまぐるしく、インターネットの情報を受け取れる端末機器、つまりパソコンやスマートフォンなどの進歩もいちじるしい。

かと思えて仕方がありません。国の現状、諸外国との関係、政府と一般国民との関係、歴史の真実などなど、今までの自分の知見を疑ってかからないと、とても理解しづらいことのように思えます。

折しも米国では大統領選挙の前哨戦の真っ最中。それぞれの候補の主張がまっとうからぶつかり、型破りのトランプ氏。9・11は米国の自作自演だったと言っているばかりません。もしそうならばどういことになるでしょう? インターネット上ではその話題でもちきりです。

世界の果ての「ごまめ」の歯ざしり ニッポンの真の支配構造とは?

二ッポンの、真の支配構造
上の相関図は、インターネットに出回っている「日本の支配構造」。出典不明とされているものの、よくわかると評判です。そもそも我々は、本当はいったい誰に支配されているのか。主権在民とは、本当なのか、三権分立なんてのは本当なのか。時にはこんな図を見て、世の面妖さに思いを巡らせてみるのも、悪くはありません。拡大鏡を取りだして



「しまなみ人物伝」
著者 村上真 (生名在住)
平成27年刊 1800円
取り扱い 弓削通信・書店
・濱田國太郎を顕彰する会
電話 0897-72-9188

「しまなみ人物伝」
著者 村上真 (生名在住)
平成27年刊 1800円
取り扱い 弓削通信・書店
・濱田國太郎を顕彰する会
電話 0897-72-9188

- 伊能忠敬 尾道周辺の測量
- 瀬戸田の仙八 幕末の海外漂流
- 永井重助 福宮丸の海難と対米賠償交渉
- 北野由兵衛 千島艦衝突事件
- 田坂初太郎 海員創生期のバイオニア
- 小林善四郎 初代弓削商船学校長の生涯
- ビッケル船長 伝道船福音丸と弓削商船学校
- 中堀貞五郎 「うらなり君」のモデルと今治
- 濱根岸太郎 初代・二代の生涯
- 濱田國太郎 海員組合草創時代
- 麻生イト 女傑の生涯
- 小山亮 嵐は強い木を育てる

ご購入ください!

やよみ亭
出よう会
●地区の年寄り達の交流会です。
●4月19日は土生集会所。5月10日はやよみ亭で。

青木喜代子
島の桜も満開になった。四月お世話になったストーブもそろそろしましませう。薪ストーブ三年目の総括をします。

まず一番心配していた薪の事。家と倉庫の周りのストックで一年まかなえる事がわかった。木の種類で、燃やすと香りというか、においが違うこともわかった。どんぐりのなる木と桜はほとんど気にならない。イチヨウは銀杏のにおいが、くすは樟脳のおいが、台所にいてもワオーツ。栗の木は、もうおわかりですね。そう焼き栗の香り。これほんと。

夜は煖火で休む。朝起きたらストーブの灰を出し、新聞紙、小枝と順に入れ点火。三年目ともなるとマッチ一本でほればほれる位うまく燃える。それを確認して朝食の支度にかかる。この作業におよそ五分。飽き性の私が一度も嫌だと思わず出来るのが不思議。ゆつたりとした作業が、朝のスタートにいい

のかも知れない。
次は一番の大仕事の煙突掃除。タイミングはストーブが教えてくれる。「そろそろ頼みます。」とすが出たり、燃えが悪くなったり。風のない午後には相談して、風のない午後にはやる。もちろん四時間以上ストーブをさましてね。

今シーズンは三回で済んだけど、松や杉をがんとたくと回数はおぼろげ。
さて、ぼちぼち煙突掃除してストーブにワックスかけて冬まで休んでもらおう。その間私たちは薪の確保に励む。切つてすぐにはたけないので、来年分を夏に準備しなくてはいいけない。これもストーブを使い始めて知った事。この冬もストーブを囲んで、あたたかい時間がすごせますように。





海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会 (参加自由)
(毎月25日13時～生名中央公民館2F青年学級室)
(22)
協力金募集のチラシができました!

Yes We Can!
わが町生名島出身で日本海員組合を創った男
濱田國太郎の立像を復活させます
ご協力をお願いします!
目標金額 150万円 一口千円 何口でも



日本海員組合をつくった男として知られる濱田國太郎は、生名島出身で明治6年生まれ。昭和33年、85才で僧・雷声として生涯を終えました。大正10年の日本海員組合創設に際しては副組合長、昭和2年、組合長に就任、様々な海上労働争議を指揮。昭和10年、組合長辞任。そのとき故郷生名島にある敵島に等身大超のブロンズ寿像が建立されました。昭和16年日本がアメリカに戦争を仕掛け、戦中の昭和18年、戦争遂行にあたり金属資源の枯渇に伴いその像と銘板が国に持ち去られました。ですので、昭和18年頃に物心ついておられた方々は、その姿を記憶に留めておられるかもしれません。

海上労働者の権利を守るため世界中で労働組合は活動しましたが、我が国も多くの組織労働者が活動し、未組織労働者の権利をも守ろうとしてきました。日本海員組合は昭和15年、国家権力によって解散させられましたが、敗戦直後の昭和20年には全日本海員組合としていち早く再結成、現在に至っています。前身の日本海員組合結成は、國太郎の強烈な個性無くしては成し得ませんでした。

議会という不思議世界
本年3月定例議会では、愛媛県内の町村では初めての「上島町議会基本条例」が成立しました。この条例については、いまままでに何度か記事にしました。条例の意味合いも解説させていただきました。改めてごく大雑把に言えば、議会基本条例とは、議会の最高規範として、議会を構成する議員が果たすべき役割を、議員(議会)が自ら定めたものです。議員とはこうあるべき。そういったものを明文化したものです。ですが、なぜ今さらそんなことを定めるのか? 今までそれをやって来なかったのか? それはおかしいではないか? との指摘もいただきました。議会に、議員に、政治に、関心がありだからこそと受け止めて頂いておられます。まさしく、そういうことをわざわざ明文化せねばならない議会とは、不思議な世界にちがいありません。

議会改革と住民生活は一心同体 議会弱ければ住民不幸

賛成、反対の意志表示は議員の責務であり、町民の付託を受けている以上、どちらが町民のためになるかの判断です。よいのですが、ここに至るまでのプロセスで、特別に意見を述べてこなかった者は、最後の議

決に際しては、きちんと討論をして、自らの判断の理由を示すべきですね。
議会改革は議員改革から
このように、行動原則が見えない議員を、皆さんは選んできたのです。それぞれが皆、是非々々を、その理由を示して実行する議員ばかりであれば、何もいまださらな、議員のモラルも含めた議会の最高規範など定める必要もないのです。おわかりになって頂けたでしょうか。

やよみ亭 映画研究会
4月15日(金)19時～



「デルス・ウザーラ」
●1975年公開の黒澤明監督による日ソ合作映画。1902年頃のシベリア沿海地方で地質探検隊隊内人の狼師デルス・ウザーラ。

けでことはすみません。
本籍を他県に移していたので家裁に関係書類を提出し、やと子供たちは私の籍に入りました。国保税、学校関係の手続き。口座名義の変更すれば、引き落としになっている支払いを全部やりなおしです。学校の手続きも、申請した月から適応されません。いわゆる母子手当に關しては、申請して許可が下りた翌月からで、所得が少ない者にとっては大変です。しかも四月、八月、十二月にまとめて支給の為、離婚する時点でお金がないと生活できません。DVなどで離婚したくても、できない人がいるのも無理のないことです。離婚して大変だなくと実感したものです。

ひとつの経験として



今号からこのコラムに記事を書くことになりました。岩城島の大西幸江と申します。文章は性格を表すと言われちよっぴり心配ですが、どうかお付き合いください。いませ。
実は昨年十月に離婚しました。二人の娘は私が引き取り、ゆっくりと子供たちに向き合えるようになったのでよかったです。この人生の転機には本当にたくさんの手続き。結婚する時にその何倍もの手続きが必要で単に離婚届を出すだ

議員活動録

(37) 上島町議会議員 平山和昭

過去と現在を見て下さい
しかし、現職議員である筆者からみても、これは天唾であると承知で申し上げますが、過去それが、充分出来ていたとは、ひいき目にも言えません。なぜそれが出来てないと言えるのか。この条例制定時にも早速目に見える形で現れました。この条例は、議会議長の付託を受け、議会運営委員会が素案を練りました。それを議員協議会にかけ、全員に「よし」という承諾をもらいました。



【写真説明】5年前、弓削島に移住した若い夫婦。農家民宿と食堂を始めるという。本格的には5月から。このほどお披露目会があった。(3月30日)

の適性を町民が判断する物差しにもなります。町民と議会とをつなぐ架け橋にもなります。次回選挙からは全町一区で議員を選びます。議員がしっかりと議案の審査をしなれば、町民の皆さんからみて、疑問を感じるような政策や予算もチェックすることもできません。むだな歳費の予防も、修正もできません。その結果どうなるか。わかりきったことです。町民の皆さんにとっては最大不幸・最小幸福にしかならないと、筆者は叫ぶざるをえないです。

大西幸江

